漱石「道草」の自筆原稿

初公開される「道草」の原稿（神奈川近代文学館提供）

26日から 横浜で公開

文豪、夏目漱石（1867～1916年）の小説「道草」の原稿18枚が、26日から横浜市の神奈川近代文学館で始まる特別展で初公開されることになった。長く所在不明だったが、神奈川県内の個人に所有されていることが分かった。

同作は、大学教師の男を主人公に、近代知識人の苦悩を描く漱石の自伝的要素の強い作品。「東京朝日新聞」などに1915年6月3日から9月14日まで連載された。この原稿のうち、889枚はすでに日本近代文学館に寄贈されているが、今回の18枚は残りの一部で、前半部にあたる。

茨城移住 県・銀行が支援

「県民登録」施設割引

残す家のローン軽減

4月から 全国初

都会からの移住を促そうと、茨城県と県内の市町村、常陽銀行などは4月から、〝県民登録〟をした人たちに、県内のホテルなどで割引が受けられるパスポートを贈り、都会に残す家のローン返済の負担も軽減する全国初の取り組みに乗り出す。人口減少対策で都道府県間の住民獲得競争が激しくなることを見据えて攻勢に出る。

この制度に登録すると、県内のホテルやガソリンスタンド、レンタカー店などで割引などの特典が受けられる「いばらきふるさと県民パスポート」が発行され、茨城の四季の魅力や移住体験ツアーなどの情報が届く。茨城へのリピーターを増やし、早期から移住の選択肢に入れてもらうのが狙いだ。

地元の常陽銀行と「移住・住みかえ支援機構」も、移住した後の都会の自宅を借り上げて賃貸に出し、借り手がつかなくても最大50年間の家賃収入を保証する制度を組み込んだローンを4月から始める。

地価の高い都会では、ローン返済期間が長くなったり、退職金を返済に充てたりして老後の生活を圧迫するケースも多く、退職後の移住の障壁になっているためだ。家賃収入を都会の家のローン返済に充て、退職金は茨城県内の新たな自宅購入に使う。ローン完済後は家賃を老後の生活費に充てて、都会の家を子供が相続することも可能だ。

県の担当者は「茨城での豊かな生活をアピールし、移住者を増やしていきたい」と意気込んでいる。登録は4月1日から。問い合わせは県地域計画課（029・301・2732）。

京都の国際発信力向上

文化庁移転 地元関係者ら歓迎

1200年の歴史に彩られた古都に、文化行政の拠点が移ることになった。政府が22日決定した文化庁の京都移転。官民を挙げて誘致活動に取り組んできた地元関係者は、喜びに沸いた。〈本文記事1面〉

京都府の担当課には午前8時過ぎ、政府の「まち・ひと・しごと創生本部」から、文化庁の全面移転方針を伝えるメールが届いた。職員は「移転が正式に決まり一安心。ただ、これからの受け入れ準備が大変」と表情を引き締めた。山田啓二知事は「京都でも協議会を作り、迎え入れの用意をしたい」と語った。

京都市役所の正面玄関上には、「歓迎 文化庁の京都移転決定」と書かれた大型看板が設置され、正午から除幕式を行った。

安倍政権が地方創生の一環で省庁の地方移転方針を打ち出すと、京都府・市は「関西には国宝の5割、重要文化財の4割が集中する」として、経済界などと連携して文化庁の受け入れに手を挙げた。1月には山田知事ら京都の政界や経済界、文化界などのトップが安倍首相と面談し、「オール京都」態勢で移転の意義と地元の熱意をアピール。誘致成功の原動力となった。

「地方創生に効果」 政府メリット強調

伝統文化が蓄積した京都に文化政策による求心力と発信力を持たせることで、「国際発信力を向上し、文化財を活用した観光の強化や、地方創生への効果が期待できる」などと、政府はメリットを強調する。政治・経済が東京に集中する中、文化の豊かな地方に移転することで、文化の多様性の確保もできるとしている。

また、文化庁が地方関係機関を持っていないことを挙げ、文化財に関係する業務が集積する京都を含む関西という現場に近いところで施策を実施できることも、利点にあげている。

文化庁　1968年、文部省の文化局と、文化財保護委員会を統合して発足。現長官の青柳正規氏は元国立西洋美術館長。4月には、東京芸術大学長の宮田亮平氏が就任する。業務は、文化財保護や芸術活動の振興などのほか、著作権制度の整備や宗教法人の認証事務もある。職員定員は233人で、非常勤も含めると363人（昨年7月時点）。

黒板の巨大アートを描いた美大生（右）に、笑顔で感想を話す児童ら（22日午前、東京都小平市で）＝沼田光太郎撮影

巣立ちの子に贈る 黒板アート

美術の楽しさを知ってもらおうと、武蔵野美術大（東京都小平市）の学生がチョークを使って鮮やかに「黒板ジャック」が22日、小平第十五小で行われ、登校した児童らを驚かせた。

この日、6年生の教室の黒板に描かれたのは、「卒業」をテーマにした、大きなカラーの花や思い出の校舎の絵。児童たちは駆け寄り、「すごい」「誰が描いたの」と喜んでいた。担任の砂原龍生教諭は「卒業式の日の卒業式を前に、子供たちにとって忘れられない思い出になる」と話した。

黒板に絵を描いたのは、同大2年の蘭菜さん(21)と龍美里さん(20)。2日から約8時間かけて、6年生2クラスの黒板に、ピンクや緑、黄色のチョークなどで鮮やかに描きあげた。同大では1年から同様の取り組みを行っている。

北極の氷 面積最小に

【ジュネーブ＝笹沢教一】気象統計を発表した。世界の年平均気温は14・76度で、観測史上最高を記録した。15年11月に発表した速報値より0・03度上方修正した。前年14年も観測史上最高の14・57度を記録しており、2年連続で最高を更新した。

北極の海氷も、年間で面積が最大になった15年2月の時点で、過去最小だった。

核燃料輸送船 東海村に停泊

プルトニウム米移送か

茨城県東海村の港で22日午前、英国の核燃料輸送船「パシフィック・イグレット」が停泊している様子が確認できた＝写真、本社ヘリから、加藤祐治撮影＝。

日本には、研究目的で米欧などから購入したプルトニウムが保管されている。日米首脳は2014年、核物質が不必要に世界に拡散した状態を是正するため、日本国内のプルトニウム31キロ・グラムなどを米へ移すことで合意している。同船は、移送作業の一環を担っているとみられる。

日米両政府はテロ対策など核燃料物質防護の観点から、輸送ルートや日程などを明らかにしていない。

しあわせ小箱

ECOマジック＊1

買い物客が阪府内のシール。約1を前に、マヤモこと宮(42)（東京都手際よく机並べていく油入りのド枚が風力発ジした風車いる。

「地球温には、自然を増やさなません」。ドをドラム重ねてこ